

私たちの仕事は、特別な日を創ることです

セレスポ

セレスポ・ニュース  
平成30年11月発行  
第109号

# CERESPO NEWS

vol. 108 November  
2018

川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり

これまでの川口と鳩ヶ谷の  
歴史をひもといて  
これからの「川口市」の  
歴史を育てていく

第3回 川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり

元気川口・御成道サンバ



セレスポ  
Pick Up

「ラグビーをもっと楽しもう！」  
イベントにブース出展しました!

# 江戸から日光を結ぶ 日光御成道が 川口市の郷土愛を育む



今年も埼玉県川口市で「川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」が開催されました。2010年に川口市と鳩ヶ谷市が合併。本イベントは合併した両市の歴史をモチーフに、共に新しい歴史を作っていくという想いが込められたイベントです。今回は、川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり実行委員会の事務局、内田美知子さんにお話をうかがいました。

—川口市にはたくさんの魅力がある中、御成道をテーマにした経緯を教えてくださいませんか？

**内田さん**：日光御成道は、江戸から徳川家康が祀られた日光東照宮までをつないでいます。歴代将軍はこの道を渡って家康へ社参<sup>※</sup>を行っていたそうです。2010年に川口市と鳩ヶ谷市がひとつになったとき、日光御成道は両市共通の魅力だったんです。「これから両市が一緒に歩いていく」という想いや、両市民に新たな「川口市民」としての郷土愛を感じてもらいたいとの願いから、このまつりが始まりました。

日光社参<sup>※</sup>…徳川家康の命日に、将軍自ら日光東照宮までお参りする江戸時代の一大事業。

今年には振付師であり、まつりの広報大使でもある真島茂樹さんにもご出演いただきました。真島さんは、御成道まつりのオリジナルソング「元氣川口・御成道サンバ」の歌と振り付けもされ、今回の御成道まつりのスタートを盛り上げていただきました。

この曲は川口市内のJR各駅の発車メロディや学校の運動会や地域の盆踊りでも使われ、音楽を通して川口市の“これまで”の歴史を伝えることができたと感じています。また、この歌が川口市の“これから”の歴史のひとつになってもらえたら、嬉しく思います。



仇討ちとそれを止めに入る定廻りと岡っ引き、社参行列とは別に当時の御成道の雰囲気を出しました。



兄頼朝に加勢するために、川口で兵を整列させたと言う源義経や川口生まれで大型カノン砲の製造に成功した増田安二郎など、川口に縁のある偉人たちが現代の川口を練り歩きました。

—内田さんがイベントを作る上で大事だと考えていることはなんですか？

**内田さん**：安全に開催できること。そして、来場者が楽しんでいただける企画であること。このイベントは4年に一度開催していますが、その年ならではの魅力、特色を盛り込みたいと思っています。今回は2年前にお披露目したまつりのオリジナルソング「元氣川口・御成道サンバ」をみんなで踊ろうという企画を新たにとり入れました。

このイベントは、協力企業や団体などが集まった実行委員会で運営しています。協力者はたくさんいますが、規模の大きいイベントですので様々な場面での調整が必要です。細かな打ち合わせやイベン



## EventData

- 川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり
- 2018年11月11日
- 川口駅、鳩ヶ谷駅
- 川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり実行委員会

トの主旨を理解して、一緒に調整をしてくれたイベントのプロの存在は心強かったです。

地域の商店のみならずイベントに合わせて特別なおもてなしメニューを考えられました。私たち実行委員会でも商店街グルメマップの配布、スタンプラリーの開催などを実施するなど、協力をしま

した。これからも御成道まつりを通して、みんなで協力して新しい川口市を盛り上げていきたいと考えています。

### インタビュー所感

川口市周辺に住んでいましたが、当時とは様子がだいぶ変わっていてびっくりしました。取材中に話しかけてくれたおばあさんが「川口もどんどん変わっていくけど、こういうお祭りを見ると良いところは残っているって感じられるね」と話してくれたのが印象的でした。協賛企業や地域の学校、子どもから高齢者まで一緒に「川口市」を感じられる、ステキなイベントでした。



## REPORT 株式会社セレスポ さいたま支店 砂場 大輔(すなば だいすけ)

### 大規模なイベントだからこそ「つながり」を意識して仕事をする

本イベントは企画から運営までを4年前の第2回から携わせていただいております。2年前に行った御成道まつり秋絵巻にも関わらせていただきました。内田さんも仰るようにたくさんの企業、団体に関わる大規模なイベントですので、みなさんの要望を漏らさず聞いて解消していくことが大事だと考えていました

ただし、気負ってしまうと聞きたいこと、聞くべきことを漏らしてしまいます。できるだけリラックスした状態を保って、早い段階から情報をもらうなど常に余裕ができるように進めてい

きました。

イベントの仕事は主催者の思いを具現化できる仕事だと考えています。イベントは、「こうしたい!」という想い一つずつ形にしていくことでできあがっていくものなんです。準備をしている中で辛いことがあっても、イベントに関わってくれたみなさんの笑顔を見ると大きな達成感を覚えます。

本イベントは川口と鳩ヶ谷の「つながり」を意識していて、私自身もイベントや準備を進めていく上でコミュニケーションの大切さを再認識



しました。「つながり」を大切にして、実行委員会が何でも相談できて、頼ってもらえるように頑張っていきたいと思っています。

セレスポ  
Pick Up

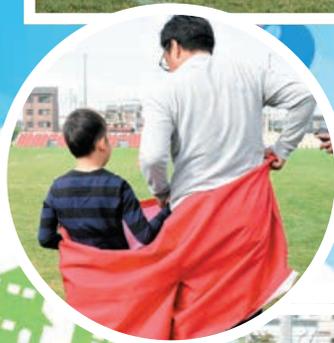
# 「ラグビーをもっと楽しもう！」 イベントにブース出展しました!

2018年10月27日に花園ラグビー場(大阪府東大阪市)で開催されたラグビーイベントにおいて「Let'sトライ!ミニ運動会&車いす陸上」ブースを出展しました。当日は天気にも恵まれ、たくさんのお客さまにご参加いただきました。

ミニ運動会では2~5人がチームとなって定番玉入れやデカパン競争やラグビーボールを使った競技など4つの種目にチャレンジ。友達同士や親子でご参加いただきチームで力を合わせて楽しみながら記録に挑戦していました。車いす陸上コーナーでは、競技用車いすを使ったタイムトライアルやVRゴーグルを着用してパラアスリート視点で競技を体験。初めて体験するプロ目線のリアルな風景にみなさま大興奮でした。



競技用車いすの速度計とVRゴーグルを連動させて、リアルなレースを疑似体験!扇風機も使って風を感じながら楽しんでいただきました。



ラグビーの魅力は「チームで力を合わせる事」。ミニ運動会ではこの魅力を体感してもらおうと、チームで力を合わせて挑戦できる4つの種目を用意しました。



## 12月のイベント

2018年12月6~8日 10:00~17:00

『エコプロ2018 SDGs時代の環境と社会、そして未来へ』に出展します。

東京ビッグサイト 東ホール 3-038

イベントで考えられる持続可能な開発目標(SDGs)や、SDGsに関係するイベントの実例を通じて弊社の取り組みを紹介いたします。



**発行** 発行日:平成30年11月25日

発行元 株式会社セレスポ (CERESPO CO.,LTD.)  
〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5 (本社)  
TEL: 03(5974)1111 FAX: 03(5394)7651  
<http://www.cerespo.co.jp/>

編集 山川 譲 (yawn)  
記事 コーポレートデザイン室  
デザイン 山本制作所  
CERESPO NEWSに関するお問い合わせは  
株式会社セレスポ コーポレートデザイン室(cd@cerespo.co.jp)まで

編集後記

CERESPO NEWSがリニューアルされて今月号で2年が経ちました。これまでのバックナンバーを眺めていると、全国各地で365日、多種多様なイベントが開催され、それぞれに込められた想いや参加しているみなさまの笑顔があることを改めて感じます。セレスポの経営理念は「イベントを通じて自らを含む周囲の幸福を実現し、笑顔のある明るい社会づくりに貢献する」です。これからも関わったみなさまの笑顔が溢れるイベントをお手伝いしていきたいと思っております。手探りの状態で始めたこの誌面ですが、ひきつづきイベントの魅力やそれに込められた想いをお届けしてまいります。ひきつづきご愛読をよろしくお願いいたします。